

令和元年度

# 市政に関する意識調査

## 報告書

令和元年度

福岡市



# 目 次

---

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査の性格	1
4. 標本の構成	2
5. 調査結果利用上の注意	6
6. 適合度の検定	7
II. 調査結果	9
1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括	9
2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果	17
(1) 福岡市が好きかどうか	17
(2) 福岡市は住みやすいと思うか	20
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか	23
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか	26
(5) 福岡市の都市環境等に関する満足度	28
3. 「福岡市の商店街」に関する調査結果の総括	37
4. 「福岡市の商店街」に関する調査結果	42
(1) 最寄り品（食品や日用品など）を購入する店舗	42
(2) 最寄り品を購入する店舗の利用理由	44
(3) 最寄り品の買い物情報の入手先	48
(4) 買い回り品（ファッション関連、家具、家電など）を購入する店舗	50
(5) 買い回り品を購入する店舗の利用理由	52
(6) 買い回り品の買い物情報の入手先	56
(7) 商店街の店舗の利用経験	58
(8) 利用した店舗	60
(9) 商店街の店舗の利用頻度	63
(10) 1回あたりの利用店舗数	65
(11) 商店街の利用満足度	68
(12) 商店街の利用で困ったこと	71
(13) 商店街の店舗を利用しない理由	74
(14) 商店街主催のイベントに行った経験	76
(15) 行ったことのあるイベント	79
(16) イベントがきっかけとなり商店街を利用した経験	82
(17) 行きたいと思うイベント	85

(18) 商店街の魅力	88
(19) 商店街に必要な店舗	91
(20) 商店街に期待すること	94
5. 「一人一花運動」に関する調査結果の総括	97
6. 「一人一花運動」に関する調査結果	100
(1) 花や緑との関わり	100
(2) 花や緑を育てた場所	102
(3) 花や緑をテーマとしたイベントの認知度	103
(4) 一人一花運動の認知度	110
(5) 一人一花運動の認知経路	113
(6) 一人一花運動のロゴの認知度	116
(7) 一人一花運動のロゴの認知経路	119
(8) 一人一花運動のスタート以降、花や緑が増えたと思うか	122
(9) 花や緑が増えたと思う場所	125
(10) 花や緑を増やすために良いと思う仕組み	127
(11) 取り組みに積極的な企業に対する印象	132
(12) 一人一花運動の効果	134
Ⅲ. 調査票	139

## I. 調査の概要

---



# I. 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、市民の市政についての意見や評価を、科学的、統計的に把握し、今後の市政を推進する上での基礎資料にするもの。

## 2. 調査項目

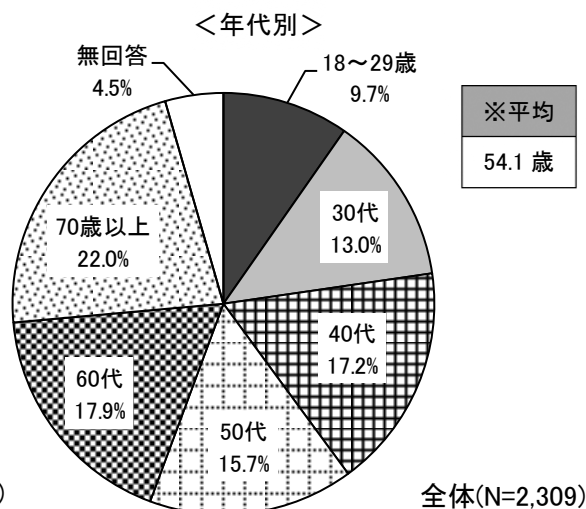
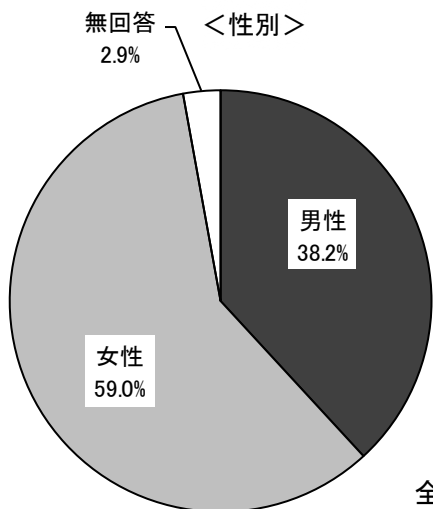
- (1) 福岡市の住みやすさについて
- (2) 福岡市の商店街について
- (3) 一人一花運動について

## 3. 調査の性格

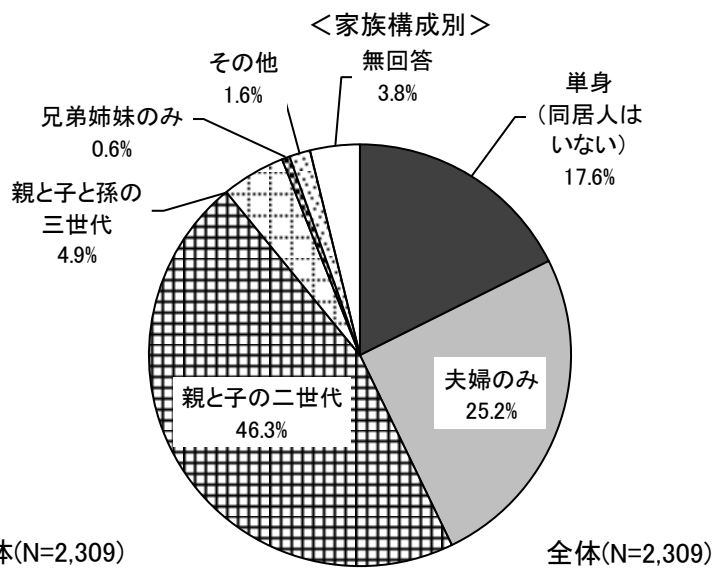
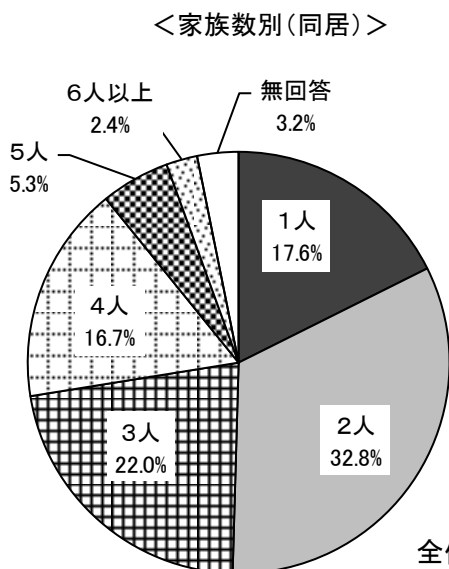
- (1) 調査地域 福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市内に居住する満18歳以上の男女
- (3) 調査対象者数 4,500サンプル（回収2,309サンプル，回収率51.3%）
- (4) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 令和元年6月20日～7月4日
- (7) 調査主体 福岡市 市長室広聴課
- (8) 調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ 福岡支社
- (9) 調査結果分析 総括執筆・監修  
公益財団法人 福岡アジア都市研究所  
主任研究員 情報戦略室長 畠山 尚久

#### 4. 標本の構成

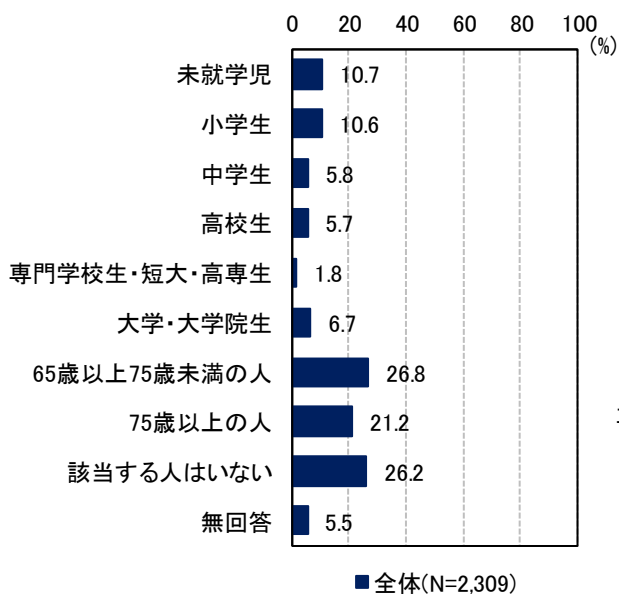
##### (1) 標本の全体構成



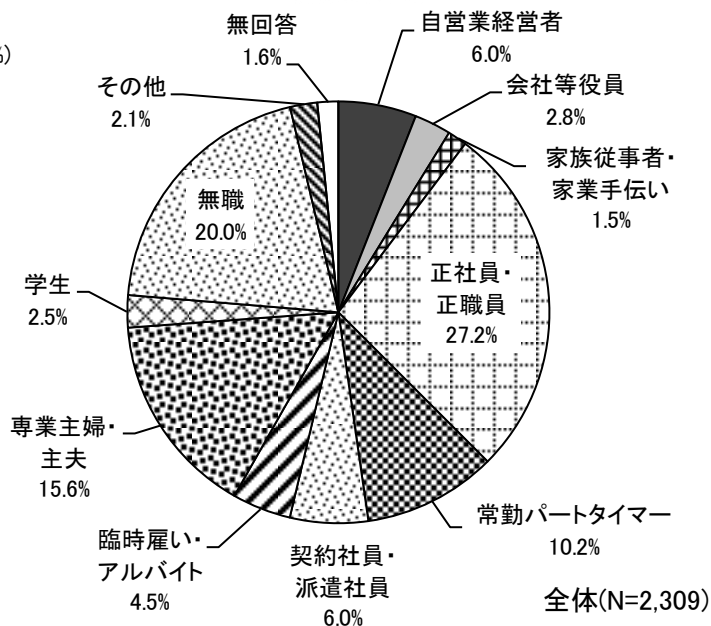
※平均  
54.1歳



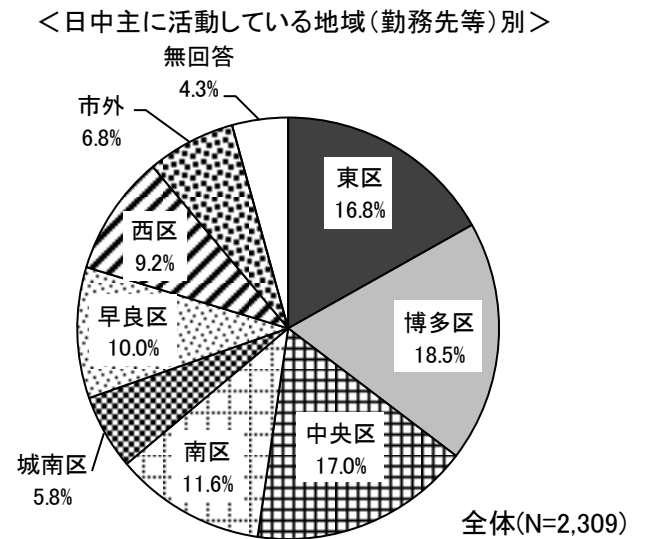
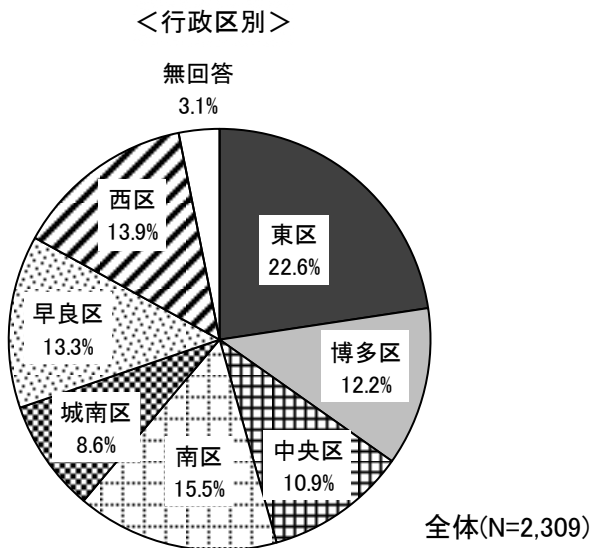
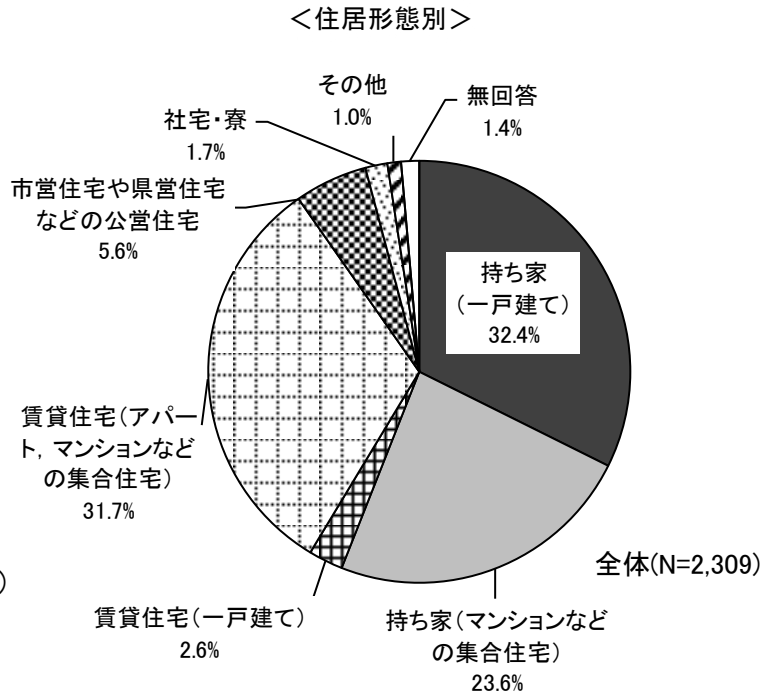
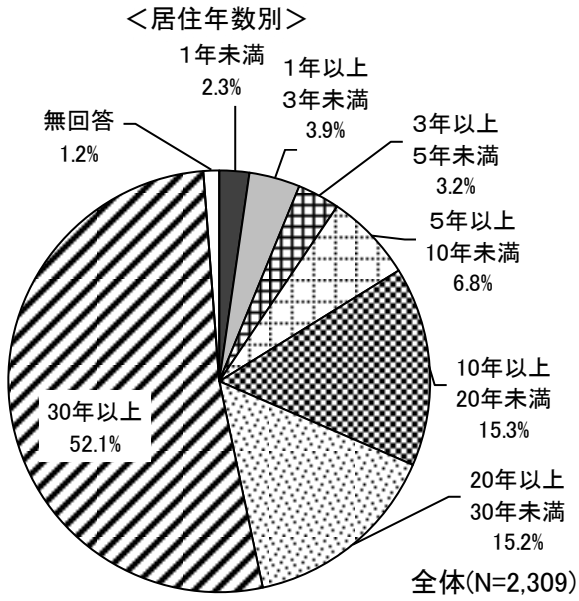
##### <同居している家族別(複数回答)>



##### <職業別>







<行政区別にみた日中の主な活動地域>

単位: %

	全 体	日中の主な活動地域別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	市 外	無 回 答
全 体 ( )は実数を示す	100.0 (2,309)	16.8 (389)	18.5 (427)	17.0 (392)	11.6 (267)	5.8 (133)	10.0 (232)	9.2 (213)	6.8 (157)	4.3 (99)
行政 区 別										
東区	22.6	65.5	13.8	5.9	0.4	0.2	1.0	0.2	8.4	4.6
博多区	12.2	3.2	69.0	10.0	3.2	0.7	1.1	0.7	6.8	5.3
中央区	10.9	2.8	15.9	66.5	1.6	0.8	2.4	0.8	6.8	2.4
南区	15.5	1.4	13.1	10.1	62.3	2.5	-	0.8	6.7	3.1
城南区	8.6	3.0	6.5	15.6	4.0	53.8	7.0	2.5	5.0	2.5
早良区	13.3	2.3	8.8	15.4	1.0	2.0	58.5	4.6	4.2	3.3
西区	13.9	0.9	7.2	12.8	1.9	1.6	6.3	55.6	7.5	6.3
無回答	3.1	13.9	15.3	15.3	16.7	1.4	6.9	11.1	8.3	11.1

(2) 属性別にみた行政区の標本構成

単位: %

		全 体	行 政 区 別							無 回 答
			東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	
全 体 ( )は実数を示す		100.0 (2,309)	22.6 (522)	12.2 (281)	10.9 (251)	15.5 (358)	8.6 (199)	13.3 (306)	13.9 (320)	3.1 (72)
性 別	男性	38.2	23.4	12.1	12.6	15.3	8.2	12.5	15.6	0.3
	女性	59.0	23.1	12.8	10.3	16.4	9.3	14.4	13.4	0.4
	無回答	2.9	1.5	-	-	-	1.5	-	-	97.0
年 代 別	18～29歳	9.7	22.3	16.5	9.4	16.1	10.3	9.4	16.1	-
	30代	13.0	21.7	14.0	14.3	11.7	11.0	13.3	13.7	0.3
	40代	17.2	24.1	13.6	12.1	17.8	7.0	14.8	10.3	0.3
	50代	15.7	22.6	10.7	10.5	15.4	7.4	16.3	17.1	-
	60代	17.9	25.8	13.0	11.6	14.7	8.0	13.3	13.3	0.2
	70歳以上	22.0	21.9	9.5	10.5	18.9	9.9	13.0	15.8	0.6
	無回答	4.5	10.7	6.8	-	2.9	4.9	5.8	4.9	64.1
家 族 数 別	1人	17.6	20.9	18.4	17.4	12.5	9.3	9.8	11.5	-
	2人	32.8	23.2	12.5	12.7	16.2	8.8	12.7	13.7	0.1
	3人	22.0	23.8	10.6	8.5	16.5	8.5	16.7	15.2	0.2
	4人	16.7	26.7	12.4	8.5	18.9	8.0	12.4	13.0	-
	5人	5.3	19.7	4.1	4.1	15.6	11.5	22.1	22.1	0.8
	6人以上	2.4	23.6	5.5	3.6	12.7	9.1	18.2	27.3	-
	無回答	3.2	-	1.4	1.4	1.4	1.4	-	-	94.5
家 族 構 成 別	単身(同居人はいない)	17.6	20.9	18.4	17.4	12.5	9.3	9.8	11.5	-
	夫婦のみ	25.2	21.8	12.2	11.7	15.6	9.5	13.4	15.8	-
	親と子の二世帯	46.3	24.8	10.3	9.0	17.4	8.9	15.1	14.3	0.2
	親と子と孫の三世帯	4.9	22.1	11.5	6.2	19.5	5.3	15.0	19.5	0.9
	兄弟姉妹のみ	0.6	42.9	7.1	28.6	7.1	7.1	-	7.1	-
	その他	1.6	24.3	21.6	8.1	13.5	8.1	10.8	13.5	-
	無回答	3.8	5.7	3.4	2.3	2.3	1.1	6.8	-	78.4
同 居 家 族 別	未就学児	10.7	23.1	12.1	9.3	15.8	9.3	12.6	17.8	-
	小学生	10.6	22.4	10.6	9.4	17.6	8.2	15.1	16.7	-
	中学生	5.8	18.8	12.0	10.5	12.8	8.3	22.6	15.0	-
	高校生	5.7	22.1	7.6	8.4	17.6	9.9	19.8	14.5	-
	専門学校生・短大・高専生	1.8	28.6	7.1	4.8	14.3	11.9	19.0	14.3	-
	大学・大学院生	6.7	23.2	6.5	6.5	20.6	11.6	18.7	12.9	-
	65歳以上75歳未満の人	26.8	24.1	11.3	10.5	17.8	8.9	14.4	12.8	0.2
	75歳以上の人	21.2	23.3	8.6	9.4	17.0	10.2	13.7	17.4	0.4
	該当する人はいない	26.2	22.8	17.3	14.2	13.0	8.1	11.2	13.4	-
	無回答	5.5	9.4	8.7	7.9	4.7	3.9	3.9	7.1	54.3

※「同居家族別」は複数回答のため、合計が100%を超える。

単位：％

	全 体	行政 区 別								
		東 区	博 多 区	中 央 区	南 区	城 南 区	早 良 区	西 区	無 回 答	
全 体 ( )は実数を示す	100.0 (2,309)	22.6 (522)	12.2 (281)	10.9 (251)	15.5 (358)	8.6 (199)	13.3 (306)	13.9 (320)	3.1 (72)	
職 業 別	自営業経営者	6.0	17.4	12.3	14.5	18.8	6.5	14.5	13.8	2.2
	会社等役員	2.8	16.9	4.6	18.5	12.3	9.2	15.4	15.4	7.7
	家族従事者・家業手伝い	1.5	14.7	17.6	11.8	17.6	8.8	8.8	20.6	-
	正社員・正職員	27.2	22.7	13.0	13.0	12.9	7.9	14.8	14.0	1.6
	常勤パートタイマー	10.2	23.7	14.4	6.8	14.4	8.1	11.4	17.4	3.8
	契約社員・派遣社員	6.0	21.0	15.9	8.7	18.1	11.6	8.7	12.3	3.6
	臨時雇い・アルバイト	4.5	14.4	13.5	14.4	21.2	8.7	14.4	9.6	3.8
	専業主婦・主夫	15.6	22.7	9.4	9.1	16.6	8.3	16.9	13.0	3.9
	学生	2.5	22.8	14.0	5.3	24.6	8.8	5.3	17.5	1.8
	無職	20.0	26.8	9.5	10.4	16.0	10.0	10.8	13.6	2.8
	その他	2.1	29.2	16.7	8.3	6.3	10.4	18.8	6.3	4.2
無回答	1.6	16.2	24.3	5.4	13.5	2.7	8.1	13.5	16.2	
日 中 の 主 な 活 動 地 域 別	東区	16.8	87.9	2.3	1.8	1.3	1.5	1.8	0.8	2.6
	博多区	18.5	16.9	45.4	9.4	11.0	3.0	6.3	5.4	2.6
	中央区	17.0	7.9	7.1	42.6	9.2	7.9	12.0	10.5	2.8
	南区	11.6	0.7	3.4	1.5	83.5	3.0	1.1	2.2	4.5
	城南区	5.8	0.8	1.5	1.5	6.8	80.5	4.5	3.8	0.8
	早良区	10.0	2.2	1.3	2.6	-	6.0	77.2	8.6	2.2
	西区	9.2	0.5	0.9	0.9	1.4	2.3	6.6	83.6	3.8
	市外	6.8	28.0	12.1	10.8	15.3	6.4	8.3	15.3	3.8
無回答	4.3	24.2	15.2	6.1	11.1	5.1	10.1	20.2	8.1	
居 住 年 数 別	1年未満	2.3	13.2	37.7	7.5	7.5	7.5	11.3	15.1	-
	1年以上3年未満	3.9	23.3	12.2	11.1	16.7	7.8	10.0	16.7	2.2
	3年以上5年未満	3.2	29.3	12.0	22.7	9.3	5.3	5.3	13.3	2.7
	5年以上10年未満	6.8	22.4	17.3	12.2	14.1	6.4	12.8	12.8	1.9
	10年以上20年未満	15.3	23.2	12.2	13.0	14.4	10.2	13.9	9.9	3.1
	20年以上30年未満	15.2	20.5	10.3	11.7	16.5	6.8	14.2	17.9	2.0
	30年以上	52.1	23.2	10.6	9.5	16.4	9.4	13.7	13.6	3.6
	無回答	1.2	14.3	25.0	-	14.3	3.6	10.7	17.9	14.3
住 居 形 態 別	持ち家(一戸建て)	32.4	26.8	5.2	4.3	16.2	9.2	16.6	19.0	2.7
	持ち家(集合住宅)	23.6	22.5	12.6	16.3	15.4	7.9	11.4	10.4	3.5
	賃貸住宅(一戸建て)	2.6	13.1	8.2	4.9	29.5	11.5	9.8	18.0	4.9
	賃貸住宅(集合住宅)	31.7	19.0	17.5	14.9	15.3	8.2	11.4	11.5	2.2
	公営住宅	5.6	21.7	19.4	7.0	8.5	9.3	14.0	14.7	5.4
	社宅・寮	1.7	30.8	15.4	17.9	10.3	7.7	10.3	5.1	2.6
	その他	1.0	33.3	4.2	8.3	8.3	16.7	25.0	-	4.2
	無回答	1.4	12.5	25.0	-	18.8	3.1	9.4	15.6	15.6

## 5. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 複数の回答を選べる（複数選択）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す N, n は、回答率算出上の基数（標本数）である。  
N = 標本全数  
n = 該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 2 つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の割合を合計している。
- (7) 属性別の分析等において、基数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。
- (8) 各属性別の集計結果の最高値には網掛けを行っている。

## 6. 適合度の検定

本調査の標本は無作為抽出法により抽出されているため、調査結果は調査対象集団（母集団）の縮図になっているはずである。しかしながら、調査の過程で標本の一部には回答を得られなかったものもあり、場合によっては調査対象集団（母集団）の縮図にならないこともあり得る。そこで、得られた対象集団が調査対象集団（母集団）の縮図とみなすことができるかどうかの検討（適合度の検定）を行うため、行政区別、性別、年代別について $\chi^2$ （カイ2乗）検定を行った。

カイ2乗検定では、以下に示す数式で求めた値と、表の自由度(F)と許せる危険率(有意水準と呼ぶこともある)に対応する $\chi^2$ の値を比較し、統計学的な有意性があるかどうかを判定する。

$$\chi^2_0 \text{ (理論と実際の食い違いの測定)} = \frac{\text{(期待値 - 実現値)}^2}{\text{期待値}} \text{ の総和}$$

### ■ $\chi^2$ の分布表（一部）

P \ F	.99	.98	.95	.90	.80	.50	.20	.10	.05	.02	.01
1	0.000157	0.000628	0.00393	0.0158	0.0642	0.455	1.642	2.706	3.841	5.412	6.635
2	0.0201	0.0404	0.103	0.211	0.446	1.386	3.219	4.605	5.991	7.824	9.210
3	0.115	0.185	0.352	0.584	1.005	2.366	4.642	6.251	7.815	9.837	11.345
4	0.297	0.429	0.711	1.064	1.649	3.357	5.989	7.779	9.488	11.668	13.277
5	0.554	0.752	1.145	1.610	2.343	4.351	7.289	9.236	11.070	13.388	15.086
6	0.872	1.134	1.635	2.204	3.070	5.348	8.558	10.645	12.592	15.033	16.812
7	1.239	1.564	2.167	2.833	3.822	6.346	9.803	12.017	14.067	16.622	18.475
8	1.646	2.032	2.733	3.490	4.594	7.344	11.030	13.362	15.507	18.168	20.090
9	2.088	2.532	3.325	4.168	5.380	8.343	12.242	14.684	16.919	19.679	21.666
10	2.558	3.059	3.940	4.865	6.179	9.342	13.442	15.987	18.307	21.161	23.209

(以下省略)

※P=危険率

F=自由度（カテゴリ数-1）

世論調査では危険率を1%(0.01)、あるいは5%(0.05)とするのが一般的であるが、ここでは危険率を1%に設定し、計算された $\chi^2_0$ の値がP:0.01に対応する $\chi^2$ の値以下になれば、統計的にみて「危険率1%で有意差がない」とする。

■標本の期待値，実現値

		実現数(回答数)		期待値	住民基本台帳人口 (令和元年5月末日現在)		$\chi^2_0$
		実数	比率		実数	比率	
性別	男性	881	39.3%	1,046	605,439	46.6%	26.028
	女性	1,362	60.7%	1,197	692,627	53.4%	22.744
	計	2,243	100.0%	2,243	1,298,066	100.0%	48.772
年代別	18～29歳	224	10.2%	390	229,269	17.7%	70.656
	30代	300	13.6%	374	219,958	16.9%	14.642
	40代	398	18.0%	414	243,469	18.8%	0.618
	50代	363	16.5%	321	188,940	14.6%	5.495
	60代	414	18.8%	298	175,478	13.5%	45.154
	70歳以上	507	23.0%	409	240,952	18.6%	23.482
	計	2,206	100.0%	2,206	1,298,066	100.0%	160.047
行政区別	東区	522	23.3%	444	257,523	19.8%	13.703
	博多区	281	12.6%	349	202,657	15.6%	13.249
	中央区	251	11.2%	284	165,004	12.7%	3.835
	南区	358	16.0%	377	219,087	16.9%	0.958
	城南区	199	8.9%	181	104,825	8.1%	1.790
	早良区	306	13.7%	308	178,531	13.8%	0.013
	西区	320	14.3%	294	170,439	13.1%	2.299
	計	2,237	100.0%	2,237	1,298,066	100.0%	35.847

検定の結果，性別（ $F = 1$ ）の  $\chi^2_0$  の値は，48.772 であることから， $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=6.635)$  となり，母集団と本調査の標本は性別の構成比に差があると判断される。これは期待値に比べて男性の回答者が少なく，逆に女性の回答者が多いためである。

年代別（ $F = 5$ ）においても  $\chi^2_0$  の値が 160.047 で  $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=15.086)$  となり，母集団と本調査の標本は年代別の構成比に差があると判断される。これは期待値に比べて 18～29 歳を中心に若い年代層のサンプルが少なく，50 代以上のサンプルが多いためである。

行政区別（ $F = 6$ ）の場合， $\chi^2_0$  値は 35.847 で， $\chi^2_0 > \chi^2_{0.01} (=16.812)$  となり，母集団と本調査の標本は行政区別の構成比に差があると判断される。これは期待値に比べ特に東区の回答者が多く，博多区の回答者が少ないためである。

以上の検定の結果から，本調査における標本の特性は性別，年代別，行政区別の構成比について調査対象母集団の構成比と差があることになる。今回の調査結果については，この検定内容を踏まえた上での考察であることをあらかじめ注意する必要がある。